

辺野古土砂北九州

発行…2026年2月号・No.68

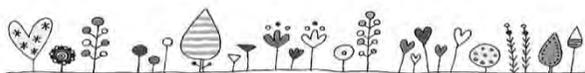


当会も参加団体になっている「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」の防衛省交渉が、1月26日、参議院議員会館で行われた。当日は、会場参加89名・オンライン視聴者338名・その他スタッフ等、総勢440名の参加があった。防衛省交渉の冒頭で共同代表の一人・具志堅隆松さんは、比較的若い防衛省の職員たちに、「軍拡は、沖縄より本土の方が前に立つようになった。沖縄が全国化している。あなたたちが仕事に励めば励むほど、戦争に向かって進んでいる。あなたたちはそのブルドーザーの部品だ。そうさせないためにここで議論をしていることを理解してください」と語りかけた。

《目次》

- 【訪問記】中国の杭州市に滞在して、今思うこと(阿部悦子)…………… 3 ページ
- 【毎日新聞から】福田康夫元総理インタビュー記事から一部転載…………… 8 ページ
- 【日中双方】4つの基本文書とは…………… 9 ページ
- 【連続エッセイ】名護市長選挙が教えたこと(浦島悦子)…………… 11 ページ

写真…阿部悦子・沖西ネット・毎日新聞(敬称略)



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

中国ってどんな国？

訪問者から聞く「目からウロコ」の話



中国に行ったことがない私ですが、テレビからの情報を中心に、長い年月をかけて私の中に作られた中国のイメージは、決していいものではありません。

そんな私に、土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)の阿部悦子さんが話してくれた中国の様子は、目からウロコの内容でした。

*

同じ時期、毎日新聞に載った、元首相の福田康夫さんのインタビュー記事に、「改装前の「南京大虐殺記念館」は、日本軍の残虐さを強調するおどろおどろしいものだったが、記念館を訪れた習主席が改めさせ、実際に新しい記念館を見学すると、従軍した日本軍兵士の日記など、事実在即した展示がなされていた」とあり、これもまた、目からウロコでした。

*

2023年11月、那覇市奥武山公園で開催された「県民平和大会」で、基調報告をした前泊沖繩国際大学教授は、ファクト(事実)とエビデンス(証拠)によって、フェイク(虚偽)に騙されない行動をとろう…と、参加者に語りかけました。

*

今月号では、実際に中国を訪問した阿部悦子さんのお話・福田康夫氏のインタビューの抜粋・日本と中国が結んだ正式文書など、事実に沿った中国との関係を取り上げました。

また、残念な結果になった「名護市長選挙」ですが、浦島悦子さんの連続エッセイから、市長選挙の様子をうかがい知ることが出来ます。(やつきくみこ)



阿部さんが送ってくれた写真の中の一
枚。やっぱりパンダは可愛い！ちなみに、動物園もすべての人が無料とのこと。

「台湾有事」の戦争を止めるために

—昨年9月、中国の杭州市に滞在して、今思うこと—

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会 共同代表 阿部悦子

■はじめに

高市政権の発足後の「台湾有事発言」をきっかけに、中国への武力行使も辞さないかのような政府が生まれ、高い世論の支持も取り付けている。その背景にはこの国の人々のぬぐい難い「嫌中」「中国脅威論」があると思う。昨年9月に中国の地を踏むまでは、私もその一人だった。

しかし、それは思い込みであったことを今、気付かされている。そして、そのような間違った、あるいは刷り込まれた評価こそが、この国を軍事大国にする原動力になっていると強く思う。私たちが本当に気づけば、「台湾有事」の戦争は起こりえないと思われる。

■中国杭州で、中国一日目の衝撃

関西国際空港から2時間余りで杭州空港に着いた途端に「それ」は始まった。とにかく広い、カラフルで清潔感漂う空港。空港から乗った地下鉄も、おしゃれで清潔。驚いたのは運賃で、70歳以上の人々は無料！それは私たち外国人に対しても。一般の人の料金は100円以下。45分間の地下鉄の特急料金だ。

バスも70歳以上は全て無料だった。一般の人の運賃は、30円～40円という安さ。そして高齢の私たちに「どうぞ」と席を譲ってくれた。…こんな風に始まった杭州の旅。その驚きのいくつかをご紹介します。



とにかく広い杭州空港



70歳以上は、外国人でも無料の地下鉄

■「文明は人民に開かれる」という思想

私は、「戦争と罪責」「虜囚の記憶」など、中国に関する著作を持つ精神医学者の野田正彰さんのお誘いで杭州に行った。いくつかの博物館、動物園にも行ったが、それら「立

派な」公共施設の入場料は、全ての人に「無料」だった。

「焼物博物館」の展示は、数千年前から時代別に見事に数多く並べられ、その技術の頂点に立つ「景德鎮」が、世界の焼き物技術を圧倒してきたことも分かる。

2か所の「お茶博物館」では、ヨーロッパ、アフリカ、日本などに渡って各国のお茶文化を育んだことが良く分かった。「茶」は世界共通語でもあるのだ。西洋や日本の人々が古くからあこがれた中国の存在の大きさが納得できた。

公共施設が全ての人に無料だったことについて、野田さん曰く「文明は人民に開かれるという概念を、人々が『革命』で勝ち取った」というのだ。



中国のお茶が、各国のお茶文化を育てたことが分かる「お茶博物館」。

■政府高官も「平服」姿で…

「人々が獲得した」と聞いたもうひとつ。中国訪問の準備中に、野田さんから、「杭州では、日本で中国大使館に勤めた経験があり、夫君は政府の高官も務めた、朱春立さん（「戦争と罪責」の中国語の翻訳者）ご夫妻が北京から来て歓迎会が開かれる」と聞いた。私はどんな服装をしたらいいのか相談したら、「彼らは平服だよ」と。私は訪問着を仕立て直したドレスはどうか？と考えていたのだが、これも「革命の成果」だと。

また、偉い人たちが居並ぶ「歓迎会」を想像していたのだが、参加した約15人のメンバーは、民宿の経営者とその民宿で「修行中」の若い女性たちとご近所の人たち。そして朱さんご夫妻は、簡素な平服を身につけておられたのだ。その食事の美味しさにも



北京から来られた朱春立さんご夫妻の歓迎会の様子

驚いた。

「驚き」を付け加えるなら、杭州の町では全ての車、スクーターまでが電気自動車だったこと。



電動スクーター

■朱春立さんとの交流

朱さんは、私と同年代、70代の方。彼女に会ってすぐに渡したものがあつた。私が所属する「ノーモア沖縄戦えひめの会」が作成したパンフ「本当に中国は攻めてくるのだろうかー中国脅威論の克服」と、高井弘之さんの「戦後 80 年、日本は戦争被害者の側からだけではなく、加害者としての歴史を学び、中国への戦争準備を止めるべきだ」という内容の論考文だ。

翌朝、朱さんに会うとすぐに私に「有難う。昨日いただいた文書を読みました。同感です！」と言われた。私が、「日本の中国への現在の軍事態勢を申し訳なく思います」と言うと、朱さんは「日本にも価値観を共有する友人たちがいます。でもその数は少ない。もっと互いに語り合わなければなりません」と。

そのあと、「私のおばあさんは、生涯笑うことのなかった人だった。若いころに日本兵から乱暴を受けた」と。「友人たちは、強制連行されて日本の鉱山で働らかされた。私はその裁判に今も関わっています」とも。また、「私たちの国は 1840 年のアヘン戦争から 100 年



左は筆者の阿部悦子さん。右は「戦争と罪責」の中国語翻訳・朱春立さん。



世界文化遺産に指定されている「西湖」。周囲は 15 キロもあるそうだ。

の間、他国からの侵略を受けて多くの国民が苦しみました。その反省に立って今、国作りをしていることを理解してください」とも言われたのだ。（私には彼女の言葉は「中国の軍拡」を指しているかと思われた）

沢山の歴史建造物が点在し、うっとりするような湖畔の風景が広がり、そこをしばしの間、朱さんと手をつないで歩いた。嬉しい時間だった。

■「中国の今」について学び伝えたい

帰国した私は、知らな過ぎた中国について学びたいと思った。しかし 4000 年もの歴史、日本の 25 倍の面積、14 億人の中国。近現代史だけでも、私が論じるには余りにも無力であることは明らかだった。

しかし日本では多くの人が中国を「一党独裁」「自由がない」「悪魔のような国」と評することに異議を唱えたいと思う。せめて中国という国の人々の暮らしと政府が現在どんな理念を持ち世界に何を発信しているのかを伝えたいと思った。



宿泊した民宿のスタッフの方たちと。後方の左が阿部さん、その右は阿部さんの妹さん。

■「平和な国際秩序」を求める中国と「グローバルサウス」

去る 1 月 13 日沖縄に、中国をはじめとするグローバルサウス諸国の市民で作る「グローバルサウス学術フォーラム」と非同盟諸国会議の精神の流れを汲む「三大陸社会研究所」の人々が集まり、米軍基地によって今も苦しむ「沖縄」との連帯が議論された。現在「グローバルサウス」と呼ばれている国々は、大戦後すぐに「アジア・アフリカ」を中心に動き出し、「非同盟運動」や「ブリックス」に集結し今日に至っている。これまで欧米や日本から戦争・侵略を仕掛けられた被抑圧の国々が「公正・平等・平和な国際秩序」を求めて世界に発信、活動している。

1955 年、周恩来首相はインドネシアで行われた「バンドン会議」（アジア・アフリカ会議）で次のように発言した。「戦争により侵略と蹂躪にさらされた中国人民は、平和と安寧があつてこそ繁栄、発展できると深く信じる」と。その基本姿勢は、習近平主席の今日まで一貫して引き継がれている。

現在、国連加盟国 193 か国のうち、「非同盟運動」への参加国は、139 か国、加盟国の 70% を占め、世界人口の 85% にもなる。

国内に「問題」を抱えない国はないだろう。しかし一方、私たちは本当に中国を理解しているだろうか。事実を伝える報道に出会っているだろうか？

■「中国脅威論」の克服を！

去る1月3日、アメリカのトランプ政権はベネズエラへの軍事介入を行い、大統領夫妻を拉致してアメリカに移送した。ベネズエラも「非同盟運動」に加わる国だ。

これまでもアメリカは他国への武力攻撃を正当化するために「ならず者国家…」などと呼んで世界に虚偽の「情報」を流して侵略し、独立権をはく奪してきた。台頭する中国に対しても長年行ってきた結果が、私たち日本人々に刷り込まれた「悪魔化」情報であることに気づかなければならない。

私たちは、今こそ虚偽の「中国脅威論」の克服に力を注ぎ、世界の平和に貢献する国を作る為に行動する時だと思う。(あべえつこ)



杭州市(浙江省)の公園に集まって踊る老若男女。一番左は阿部さん

注・「グローバルサウス」「中国脅威論の克服」については、高井弘之著・『中国への戦争態勢』は、誰のためのものかー東アジアでの戦争を止めるために(全170p、1,300円)を参照しました。

※ご注文、お問い合わせは高井さん(090-2783-4568)まで。



毎日新聞(26.1.24)・福田康夫氏へのインタビュー記事 ◀「平和憲法の力」を今こそ▶

毎日新聞の特集ワイドのコーナーに、福田康夫元首相が中国や憲法について語る記事が載っていました。吉井理さんという記者の方が書かれたものです。多くの方に読んでほしいと思い、全体の3分の1程を抜粋して紹介します。

◀前略▶ ▶中略▶

「国と国との関係も同じです。相手の立場や思い、歴史をおもんぱかりつつ、相互の理解を深めていく、それが外交と言うものです」

なのに、こと日中関係になると、その基本を踏み外すのみならず、中国への敵意を隠そうともしない与党議員やメディア、言論人は少なくない。それが国民の間に広がる…

▶中略▶

2018年に福田さんは、南京の、改装されたばかりの「南京大虐殺記念館」を訪れた。

「改装前の記念館は、日本軍の残虐さを強調するおどろおどろしいものでしたが、習主席が記念館を訪れ、改めさせたと聞きました。実際に新しい記念館を見学すると、従軍した日本軍兵士の日記など、事実在即した展示がなされていた。日本人の心情に配慮したのでしよう。中国は、日本との関係悪化を決して望んでいないのです」

何度も習氏と会ってきた印象からすれば、習氏は14億の人民と日本の25倍の広さの国土、陸続きで14の国と国境を接する巨大

な自国をどうまとめ、どう守るかしか考えていない、とも。

「でも、今のような状況が続くと、習主席は日本とはもう付き合えないと思うかもしれない。中国が『台湾統一』を国是としているのは事実ですが、周辺国は米国とも協力しつつ、現状維持を図るほかない。そのためにも日本は火種を作るような物言いはしてはならないのです」

▶中略▶

「…この80年、これだけの経済力がありながら、戦争をしなければ日本くらいでしょう。朝鮮戦争やベトナム戦争、イラク戦争にも参戦しなかった。これは今の憲法があったから。平和憲法の力は偉大です」



福田康夫元総理

決して非武装論者ではなく、防衛力は必要だという立場だ。その福田さんが発した「平和憲法の力」という言葉の重さ。

「今、その憲法を変えようという動きがありますね。でも日本が右に行けば、他国も右に行くんです。戦争を起こさないためには、どこの国とも仲良くするほかありません。政治家はそこを第一に考えないと。メディアの責任も大きいですよ。過去、新聞は戦争をありましたね。どうすれば他国と戦争をしない関係を作れるか。そういう記事を書いてください」▶後略▶

2017年、安倍晋三総理と習近平中国国家主席の日中首脳会談が行われました。その中で、習主席は、「国交正常化以来、日中双方が合意した4つの基本文書等は、台湾問題を含め、日中関係の政治的基礎である」と発言しています。

日中双方が合意した4つの基本文書とは

日中双方が合意した4つの基本文書とは、以下の文書です。紙面の関係で、全文を載せることが不可能なので、全体の一部のみを抜粋しています。

《1972年》（日中国交正常化が実現した時の共同声明です）

■日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明

日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。また、日本側は、中華人民共和国政府が提起した「復交三原則」を十分理解する立場に立って国交正常化の実現をはかるという見解を再確認する。中国側は、これを歓迎するものである。

1. 日本国と中華人民共和国との間のこれまでの不正常的な状態は、この共同声明が発出される日に終了する。
2. 日本国政府は、中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府であることを承認する。
3. 中華人民共和国政府は、台湾が中華人民共和国の領土の不可分の一部であることを重ねて表明する。日本国政府は、この中華人民共和国政府の立場を十分理解し、尊重し、ポツダム宣言第八項に基づく立場を堅持する。
5. 中華人民共和国政府は、中日両国国民の友好のために、日本国に対する戦争賠償の請求を放棄することを宣言する。
6. 日本国政府及び中華人民共和国政府は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に両国間の恒久的な平和友好関係を確立することに合意する。

両政府は、右の諸原則及び国際連合憲章の原則に基づき、日本国及び中国が、相互の関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する。

1972年9月29日に北京で

日本国内閣総理大臣

田中角栄（署名）

中華人民共和国国務院総理

周恩来（署名）

《1978年》

■日本国と中華人民共和国との間の平和友好条約

両締約国は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に、両国間の恒久的な平和友好関係を発展させるものとする。

両締約国は、前記の諸原則及び国際連合憲章の原則に基づき、相互の関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し及び武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する。

1978年8月12日北京にて

日本国のために

園田 直（署名）

中華人民共和国のために

黄 華（署名）

※いずれも全権大使

《1998年》

■平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する日中共同宣言

双方は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵、平和共存の諸原則並びに国際連合憲章の原則が、国家間の関係を処理する基本準則であることを確認した。

双方は、過去を直視し歴史を正しく認識することが、日中関係を発展させる重要な基礎であると考え、日本側は、1972年の日中共同声明及び1995年8月15日の内閣総理大臣談話を遵守し、過去の一時期の中国への侵略によって中国国民に多大な災難と損害を与えた責任を痛感し、これに対し深い反省を表明した。中国側は、日本側が歴史の教訓に学び、平和発展の道を堅持することを希望する。双方は、この基礎の上に長きにわたる友好関係を発展させる。

日本側は、日本が日中共同声明の中で表明した台湾問題に関する立場を引き続き遵守し、改めて中国は一つであるとの認識を表明する。

1998年11月26日

日本国内閣総理大臣 小淵恵三

中華人民共和国主席 江沢民

《2008年》

■「戦略的互恵関係」の包括的推進に関する日中共同声明

- 双方は、1972年9月29日に発表された日中共同声明、1978年8月12日に署名された日中平和友好条約及び1998年11月26日に発表された日中共同宣言が、日中関係を安定的に発展させ、未来を切り開く政治的基礎であることを改めて表明し、三つの文書の諸原則を引き続き遵守することを確認した。
- 双方は、互いに協力のパートナーであり、互いに脅威とならないことを確認した。
- 双方は、協議及び交渉を通じて、両国間の問題を解決していくことを表明した。
 1. 台湾問題に関し、日本側は、日中共同声明において表明した立場を引き続き堅持する旨改めて表明した。

2008年5月7日、東京

日本国内閣総理大臣

福田康夫（署名）

中華人民共和国主席

胡錦濤（署名）

浦島悦子の連続エッセイ 《南の島から》 No.68

名護市長選が教えたこと

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



現職に2倍近い票差を付けられて「完敗」した名護市長選。投票率も60.75%と、前回より8%近くも低下し過去最低だった。

辺野古新基地建設について、あいまいな態度を取り続ける一方、基地建設への協力金である米軍再編交付金を受け取って市政を行っている現職に対し、私たちの候補者である翁長久美子さんは明確に反対を打ち出し、基地に頼らない市民本位の市政を訴えた。

名護市初の女性市長誕生に向けた女性たち（名護市だけでなく全県から集まった）の動きは目覚ましく、街頭での反応も良かっただけに、久美子さんの後援会長を務めた稲嶺進前市長は「風向きが変わった、波が起こった、と感じたのだが……」と悔しさを吐露した。

この結果が突き付けたのは、30年近くにわたり基地問題で翻弄されてきた名護市民の疲れ、いくら反対しても無駄だというあきらめ、若い層（だけではないが）の無関心だ。選挙に際して久美子さんが言っていたように、これは「国とのたたかい」だった。国の言うことを聞けば出すカネ（もとよりそれは国民の税金だが）に負けたとも言える。

今回の選挙で、私たちの地域である名

護市東海岸を回って衝撃を受けたのは、4年前と比べても地域が疲弊していることだった。空き家や空き屋敷（敷地のみ）が増え、土曜日の昼間だったが高齢者が1人で寝ていたり、たまに人に会っても「選挙なんか行っても無駄。難儀」「誰が（市長になっても同じ）」と追い返された。「いくられるの？」と聞く人もいた。

ある家では老夫婦が対応してくれたが「以前は稲嶺さんを応援していたけど、今は息子も孫も（基地建設の）作業船に乗っているからできないさあ」と言う。「それはそれ。選挙は無記名だから大丈夫だよ」と言ったが、律儀そうな2人には通じなかったようだ。

一緒に訪問活動をしていた他市の女性議員が「ほんとうに限界集落なんですね…」とショックを受けていた。名護市内の地域間格差がますます大きくなっていることを痛感した。

負け惜しみかもしれないが、今回の選挙が教えてくれたのは、そんな現実をしっかりと見ること。その上で、この怒涛のような軍事化へ向かう流れに抗する力を、たとえ小さくなくても守り抜き、若い世代に少しでも伝え、育てていく地道な作業が必要だということだ。

（うらしまえつこ）

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 2月25日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 2月28日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
- 3月04日(土)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 3月25日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 3月28日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～



「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。

カンパ熱烈大歓迎!

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《**辺野古土砂ストップ北九州**》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2026年2月4日発行